

# 慶應言語学コロキウム

人に生まれながらにして具わる言語の仕組み：  
基礎仮説の再考

[日時] 2018年3月18日(日) 13:00-18:30

[会場] 慶應義塾大学三田キャンパス北館3階大会議室

\*参加費無料・事前申込不要(会場にて参加者カードへの記入が必要となります)

慶應義塾大学次世代研究プロジェクト推進プログラム B (基礎学術研究型) 「日英語比較統語論に基づく言語の普遍性と多様性の研究およびその理論的帰結の探求」(2013.4~2018.3) 参加メンバーによる公開シンポジウム「人に生まれながらにして具わる言語の仕組み：基礎仮説の再考」を開催します。各講師には専門領域を中心に研究成果と今後の課題について発表していただきます。発表予定の講師および演題は下記の通りです。皆様のご参加をお待ちしております。

階層構造はどのようにして生み出されるのか

北原 久嗣 (慶應義塾大学)

ラベルに寄与する素性について—手話言語研究から

内堀 朝子 (日本大学)

ラベルはどこにあるのか

成田 広樹 (東海大学)

語の構造と意味解釈をめぐって

杉岡 洋子 (慶應義塾大学)

転送領域と素性一致

斎藤 衛 (南山大学)